

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本化薬株式会社福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町126番地

(3) 業種

1634 環式中間物・合成染料・有機顔料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度（2019年度）を基準年度とし、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成元年度 (2019年度)	令和7年度 (2025年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
エネルギー 起源CO ₂	9,162	8,662 5.5	9,935 (8.4)	6,558 28.4	6,025 34.2	7,243 20.9	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	1	1 0.0	1 0.0	1 0.0	0 100.0	1 0.0	100.0
メタン	9	10 (11.1)	8 11.1	9 0.0	10 (11.1)	11 (22.2)	100.0
一酸化二窒素	80	100 (25.0)	81 (1.3)	128 (60.0)	205 (156.3)	354 (342.5)	100.0
その他 温室効果ガス	0	58 0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	9,252	8,773 5.2	10,025 (8.4)	6,696 27.6	6,240 32.6	7,667 17.1	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	太陽光発電（PPA）を設置することで、温室効果ガスの排出を削減できた。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	プラント操業の最適化	2021年度→2025年度 500t-CO2	MFCA解析の実施（エネルギー無駄の抽出等）
2	省エネ機器選定		ファン・ポンプ：インバーター、台数盛業 産業用ヒートポンプ導入 脱気装置更新 軟水装置ダウンサイジング
3	太陽光発電システム採用		土地有効活用し、PPA（太陽光発電自家消費型）の導入

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。